

# 東京大学(本郷)総合研究棟(工学部新3号館) 施設整備事業

## 実施方針に関する質問回答

平成21年5月13日

国立大学法人東京大学

- 1 本質問回答は、平成21年4月20日(月)から4月27日(月)までに受け付けた東京大学（本郷）総合研究棟（工学部新3号館）施設整備事業の実施方針に関する質問を項目順に整理するとともに回答を付したものです。
- 2 質問の内容は、質問者の記載のとおりとしています。ただし、項目及び記載位置については、大学で整理していますので注意してください。

- 3 書類欄の は「実施方針」を、 は「その他」を示します。
- 4 なお、本回答は、現時点での大学の考え方を示すものであり、今後変更する可能性がありますので注意してください。最終的には、入札説明書等に基づいてください。

# 東京大学(本郷)総合研究棟(工学部新3号館)施設整備事業 実施方針に関する質問回答

| 番号 | 書類 | 質問項目      | 頁 | 1 | (1) | 1) | ア | a | 質問                                                                                                         | 回答                                                                                                                                                   |
|----|----|-----------|---|---|-----|----|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  |    | 施設整備業務    | 1 | 1 | 1   | 5  | ア |   | 「埋蔵文化財調査を含む」とありますが、選定事業者が自ら埋蔵文化財調査を行う事を指しているのでしょうか。<br>またその場合、調査費を見積ることが困難なことから、当該調査費は実費精算としていただけないのでしょうか。 | ご質問の前段について、お考えのとおりです。<br>ご質問の後段について、入札説明書等の公表時に、入札参加者が見積もれるための数量等の資料を提示するとともに、当該数量に一定以上の変動が生じた場合は、所定の変更手続を行う予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。                 |
| 2  |    | 施設整備業務    | 2 | 1 | 1   | 5  | イ |   | 「基本設計の見直し」とありますが、これは具体的にはどのような業務でしょうか。<br>また、基本設計は事業範囲に含まれず、大学が実施されるという理解でよろしいでしょうか。                       | 大学は基本設計に相当する作業を実施しており、入札説明書等の公表時に、当該資料を参考資料として提示する予定です。したがって、事業者においては、当該基本設計の見直しから実施していただくということです。                                                   |
| 3  |    | 施設整備業務    | 2 | 1 | 1   | 5  | ウ |   | 本施設の施設整備業務に実験機器等の整備は事業範囲には含まれないという理解でよろしいでしょうか。                                                            | 原則として、本施設と一体的に整備される、例えば実験機器等を接続する設備等の一次側や実験機器等を設置する基礎等については、本事業の施設整備業務に含まれますが、いわゆる実験機器等そのものについては、本事業の業務には含まれません。具体的には、入札説明書等で公表します。                  |
| 4  |    | 施設整備業務    | 2 | 1 | 1   | 5  | ウ |   | 「既存施設の解体業務を含む」とありますが、既存施設内の有害物質の撤去及び処分は選定事業者の業務範囲に含まれるのでしょうか。                                              | 既存施設内の移動可能な機器及び什器備品等は、大学が撤去しますが、既存施設及び既存施設と一体となった機器及び什器備品等は、本事業の業務に含まれます。ただし、入札説明書等の公表時に提示する条件を大きく越えるような業務内容については、所定の変更手続を行う予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。 |
| 5  |    | 維持管理・運営業務 | 2 | 1 | 1   | 5  |   |   | 「維持管理・運営業務にかかる光熱水費は大学が負担す                                                                                  | ご理解のとおりです。ただし、レンタルラボ部分（貸室                                                                                                                            |

| 番号 | 書類 | 質問項目      | 頁 | 1 | (1) | 1) |  | ア | a |  | 質 問                                                                                                                                       | 回 答                                                                                                                                                                                |
|----|----|-----------|---|---|-----|----|--|---|---|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    |           |   |   |     |    |  |   |   |  | る。」とありますが、これは<br>ＢＯＴ方式部分についても適用されるのでしょうか。                                                                                                 | 部分)の光熱水費は入居者の負担とし、附帯事業部分の光熱水費は事業者の負担とすることに留意してください。                                                                                                                                |
| 6  |    | 維持管理・運営業務 | 2 | 1 | 1   | 5  |  | I |   |  | 建築物の内部と外部の清掃と、ガラス清掃と実施すると理解してよろしいですか。                                                                                                     | このことについては、入札説明書等で公表します。                                                                                                                                                            |
| 7  |    | 附帯事業      | 2 | 1 | 1   | 5  |  | ア |   |  | 維持管理業務の費用についても独立採算で行うとのことでしょうか。                                                                                                           | ご理解のとおりです。なお、添付資料４の「附帯事業部分の運用方針の概要(案)」を参照してください。                                                                                                                                   |
| 8  |    | 事業方式      | 3 | 1 | 1   | 7  |  |   |   |  | 本施設は大学が所有するＢＴＯ方式部分及び選定事業者が事業期間中所有するＢＯＴ方式部分(レンタルラボ部分)からなるとのことですが、本施設の所有に係る権利形態は区分所有(ＢＴＯ部分が大学、ＢＯＴ部分が選定事業者の専有部分+共用部の共有持分)によるという理解でよろしいでしょうか。 | ご理解のとおり、本施設のＢＯＴ方式部分とＢＴＯ方式部分は１棟の中に共存する区分所有の形態を想定しています。ただし、本施設は、事業契約の終了時には大学の１人持ちと(区分所有の形態でなく)なるため、できるだけシンプルな所有形態にできればと考えています。具体的には、入札説明書等で公表します。                                    |
| 9  |    | 事業方式      | 3 | 1 | 1   | 7  |  |   |   |  | 本施設が区分所有である場合、共用部は官民の共有持分なので、ＢＴＯ方式とＢＯＴ方式が持分割合で並存するという理解でよろしいでしょうか。                                                                        | 本施設のＢＯＴ方式部分とＢＴＯ方式部分は１棟の中に共存する区分所有の形態を想定しています。ただし、本施設は、事業契約の終了時には大学の１人持ちと(区分所有の形態でなく)なるため、できるだけシンプルな所有形態にできればと考えています。なお、ご質問事項については、上記の趣旨に基づいて、現在大学において検討中です。このことについては、入札説明書等で公表します。 |
| 10 |    | 事業方式      | 3 | 1 | 1   | 7  |  |   |   |  | 大学より戻し賃貸借を受ける部分の一部については、～維持管理業務とともに以下の業務を実施することを想定しているとありますが、戻し賃貸借を受けない大学が一括賃借される部分については、維持管理業務は事業対象外という理解でよろしいでしょうか。                     | 本事業の維持管理業務は、附帯事業部分以外のすべての施設が対象となります。なお、附帯事業部分の維持管理業務は、本事業の維持管理業務とは区分し、事業者の負担で(独立採算事業として)行うこととします。                                                                                  |

| 番号 | 書類 | 質問項目                    | 頁  | 1 | (1) | 1) |   | ア | a |  | 質 問                                                                                                            | 回 答                                                                                                                            |
|----|----|-------------------------|----|---|-----|----|---|---|---|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11 |    | 事業方式                    | 3  | 1 | 1   | 7  |   |   |   |  | 福利厚生（物販・軽食等）のサービスを提供する運営業務の提案の有無は失格要件とならないという理解でよろしいでしょうか。                                                     | 附帯事業（独立採算事業）の実施は、必須要件とする予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。                                                                               |
| 12 |    | 民間事業者の募集及び選定の手順及びスケジュール | 6  | 2 | 2   |    |   |   |   |  | 予定価額及び内訳の公表はいつ頃ありますか？                                                                                          | 予定価格及び内訳を公表する予定はありません。                                                                                                         |
| 13 |    | 入札参加者の構成等               | 10 | 2 | 4   | 1  |   | I |   |  | 主たる業務を行う者（たとえば建設会社）を入札参加グループの構成員とせず、協力業者として入札に参加することは可能でしょうか？                                                  | ご理解のとおり、建設に当たる者を協力会社として入札に参加することも可能です。                                                                                         |
| 14 |    | 入札参加者及び協力会社の資格要件等       | 11 | 2 | 4   | 3  |   |   |   |  | 入札参加者及び協力会社のうち設計、建設、工事監理、維持管理及び運営の各業務に当たる者はとありますが、入札参加者及び協力会社に含まれていなければならない附帯事業に当たる者の資格要件は問わないという理解でよろしいでしょうか。 | ご理解のとおり、附帯事業に当たる者は、実施方針10頁の「2）入札参加者及び協力会社の参加要件」を満たしている必要がありますが、同11頁の「3）入札参加者及び協力会社の資格等要件」については特段の要件はありません。                     |
| 15 |    | 入札参加者及び協力会社の資格要件等       | 13 | 2 | 4   | 3  |   | ウ | a |  | 入札参加者の資格要件における建設実績の建物用途に関し、大学校舎を東京大学（海洋研）総合研究棟施設整備等事業同様に校舎に変更していただけますでしょうか。                                    | 建設に当たる者のうち、「建築一式工事」の「施工の実績、施工の経験」に関する「建物用途」を「大学校舎、研究施設、病院」のいずれかとし、「電気工事」及び「管工事」の「施工の実績、施工の経験」に関する「建物用途」を「校舎、研究施設、病院」のいずれかとします。 |
| 16 |    | 特別目的会社の設立等              | 16 | 2 | 4   | 6  |   |   |   |  | 特別目的会社を設立する場所についての指定はない、との理解でよろしいでしょうか？                                                                        | ご理解のとおりです。                                                                                                                     |
| 17 |    | 審査手順に関する事項              | 16 | 2 | 5   | 2  | イ |   |   |  | 加点項目の配点内訳をご提示ください。                                                                                             | このことについては、入札説明書等（「落札者決定基準」）で公表します。                                                                                             |
| 18 |    | 審査手順に関する事項              | 16 | 2 | 5   | 2  | イ |   |   |  | 「附帯事業施設部分」の提案については、評価の対象とはならない、との理解でよろしいでしょうか？                                                                 | 「附帯事業部分（「附帯事業施設部分」を含む。）」の提案内容審査は、入札参加者が提案する「附帯事業計画」に基づいて行う予定です。具体的には、入札説明書等（「落                                                 |

| 番号 | 書類 | 質問項目                  | 頁  | 1      | (1) | 1) |  | ア | a |  | 質 問                                                                          | 回 答                                                                                                                                |
|----|----|-----------------------|----|--------|-----|----|--|---|---|--|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    |                       |    |        |     |    |  |   |   |  |                                                                              | 札者決定基準」) で公表します。                                                                                                                   |
| 19 |    | 施設計画の概要               | 20 | 4      | 2   | 1  |  |   |   |  | 表中の主な用途にレンタルラボ部分及び附帯事業部分が見当たりませんが、どこに配置されるかご教示下さい。                           | このことについては、入札説明書等(「要求水準書」)で公表します。                                                                                                   |
| 20 |    | 施設計画の概要               | 20 | 4      | 2   | 1  |  |   |   |  | 表中の施設計画のうち、ＢＴＯ部分及びＢＯＴ部分がそれぞれどこに配置されるか、ご教示下さい。                                | このことについては、入札説明書等(「要求水準書」)で公表します。                                                                                                   |
| 21 |    | 施設計画の概要               | 20 | 4      | 2   | 1  |  |   |   |  | 入居される学科は現３号館同様という理解でよろしいでしょうか。                                               | 工学部新３号館への入居は、現３号館の入居者が中心となりますが、これに限るものではありません。具体的には、入札説明書等(「落札者決定基準」)で公表します。                                                       |
| 22 |    | (添付資料１)<br>事業方式の概要(案) | 22 |        |     |    |  |   |   |  | 最下部の面積を合計すると２６，０００㎡となり、Ｐ．２０の延べ床面積約２６，０００㎡と一致しますが、区分所有に係る共用部はどこに含まれていますでしょうか。 | 添付資料１の最下段の面積には、それぞれに共用(的な)部分も含まれているものとします。具体的には、入札説明書等(「要求水準書」)で公表します。                                                             |
| 23 |    | (添付資料２)<br>リスク分担表(案)  | 23 | 3      |     |    |  |   |   |  | 本リスクは、大学側帰責の場合と選定事業者帰責の場合に分けてリスク分担すべきと思料いたしますので、項目を分割していただけますでしょうか。          | 添付資料２の「リスク分担表(案)」は、リスク分担の概要(方針)を示すものであり、具体的なリスク分担については、入札説明書等(「事業契約書(案)」)によるものとします。(以下、質問回答番号２４から３４について同じ。)                        |
| 24 |    | (添付資料２)<br>リスク分担表(案)  | 23 | 3      |     |    |  |   |   |  | 契約リスクに関し事業者にもリスクの分担がありますが、事業者が帰責者となる具体的な事例につきご教授下さい。                         | 事業者(ＳＰＣ)が組成できない場合などを想定していますが、これにかぎるものではありません。                                                                                      |
| 25 |    | (添付資料２)<br>リスク分担表(案)  | 23 | 6<br>7 |     |    |  |   |   |  | №６の本事業に直接影響を及ぼすものと、№７の上記以外のものの区分が不明です。分類基準を具体的にお示し下さい。                       | リスク分担表(案)№６：ＰＦＩ事業に典型的に適用される法令又はＰＦＩの事業者のみに適用される法令等の新設・変更は大学の負担とする予定です。リスク分担表(案)№７：上記以外のあまねく適用される一般的な法令等の新設・変更は、事業者の負担とする予定です。具体的には、 |

| 番号 | 書類 | 質問項目                      | 頁  | 1  | (1) | 1) |  | ア | a |  | 質 問                                                                                                                                                                        | 回 答                                                                                                            |
|----|----|---------------------------|----|----|-----|----|--|---|---|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    |                           |    |    |     |    |  |   |   |  |                                                                                                                                                                            | 入札説明書等で公表します。                                                                                                  |
| 26 |    | (添付資料 2)<br>リスク分担表<br>(案) | 23 | 13 |     |    |  |   |   |  | 建物所有に関する税制の新設・変更リスクは、事業者で負えるものではないため大学側で全て負担して下さいますようお願い致します。                                                                                                              | 建物所有に直接的に係わる税制の新設・変更リスクは、大学の負担とする予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。                                                      |
| 27 |    | (添付資料 2)<br>リスク分担表<br>(案) | 23 | 14 |     |    |  |   |   |  | その他事業に影響を及ぼす税制の新設・変更リスクは、事業者で負えるものではないため大学側で全て負担して下さいますようお願い致します。                                                                                                          | リスク分担表(案)№6及び№7の考え方を準用する予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。                                                               |
| 28 |    | (添付資料 2)<br>リスク分担表<br>(案) | 23 | 25 |     |    |  |   |   |  | No.25の開業前のインフレ・デフレが大学 / 事業者。となっていますが、設計・建設期間中のインフレ・デフレについては従来方式の案件同様、全体スライド、単品スライド、ハイパーインフレについては、大学負担としていただけませんか。大学負担としていただけない場合、過度な予備費を計上することとなり、かえってVfMを低下させることになりかねません。 | このことについては、入札説明書等で公表します。                                                                                        |
| 29 |    | (添付資料 2)<br>リスク分担表<br>(案) | 23 | 26 |     |    |  |   |   |  | No.26の開業後のインフレ・デフレが大学。 / 事業者。となっていますが、維持管理・運営期間中のインフレ・デフレについて、具体的なリスク分担の考え方をお示し下さい。                                                                                        | 具体的には、入札説明書等によるものとします。                                                                                         |
| 30 |    | (添付資料 2)<br>リスク分担表<br>(案) | 24 | 28 |     |    |  |   |   |  | No.28では「工事請負契約の変更」、No.29では「工事請負内容の変更」となっていますが、両者の違いを具体的にお示し下さい。                                                                                                            | №28の「工事請負契約」は、事業者と建設に当たる者との請負契約を念頭において記述したものであり、№29の「工事請負内容」とは、№28よりもより幅広い概念を念頭において記述したものであり、それ以上の特別な意味はありません。 |
| 31 |    | (添付資料 2)<br>リスク分担表<br>(案) | 24 | 36 |     |    |  |   |   |  | No.36の資材置場について、大学の本郷キャンパス内では建設予定地以外にはご提供いただけないという事でしょうか。                                                                                                                   | 事業計画地以外に、本郷キャンパス構内の暫定空地を工事用地として無償で貸与する予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。                                                 |

| 番号 | 書類 | 質問項目                                        | 頁  | 1  | (1) | 1) |  | ア | a |  | 質 問                                                                                                      | 回 答                                                                                                  |
|----|----|---------------------------------------------|----|----|-----|----|--|---|---|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 32 |    | (添付資料2)<br>リスク分担表<br>(案)                    | 24 | 36 |     |    |  |   |   |  | No.36の資材置場について、建設予定地周辺の仮囲設置スペースや工事資材の積み下ろし場所、工事車両の通行や駐車及び工事関係者用の仮設事務所等の場所は学内に提供いただけるでしょうか。               | 事業計画地以外に、本郷キャンパス構内の暫定空地进行を工事用地として無償で貸与する予定です。また、工事車両の通行等については、学内交通ルール等に従うこととなります。具体的には、入札説明書等で公表します。 |
| 33 |    | (添付資料2)<br>リスク分担表<br>(案)                    | 24 | 36 |     |    |  |   |   |  | No.36の資材置場について、工事車両の建設予定地からの出入りや学内の通行について、物理的・時間的に何らかの制約がありますでしょうか。                                      | 工事車両の通行等については、学内交通ルール等に従うこととなります。また、近隣の方々に対する十分な配慮が必要となります。具体的には、入札説明書等で公表します。                       |
| 34 |    | (添付資料2)<br>リスク分担表<br>(案)                    | 24 | 43 |     |    |  |   |   |  | No.43の工事費増大のうち、物価上昇についてはNo.25が適用されるという理解でよろしいでしょうか。                                                      | ご理解のとおりです。                                                                                           |
| 35 |    | (添付資料3)<br>レンタルラボ<br>部分の運用方<br>針の概要(案)<br>等 | 26 |    |     |    |  |   |   |  | レンタルラボの入居に係る契約の形態は、学内研究者・学外研究者とも、選定事業者と当該研究者個人との不動産賃貸借契約という理解でよろしいでしょうか。                                 | レンタルラボ部分の入居については、当該研究者個人又は研究者が所属する大学、研究機関、企業等と事業者との契約となる予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。                     |
| 36 |    | (添付資料3)<br>レンタルラボ<br>部分の運用方<br>針の概要(案)<br>等 | 26 |    |     |    |  |   |   |  | レンタルラボ部分の運用等今後公表される資料の内容に関し、提案書の作成及び提出に先立ち、大学側と事業者側で対話の機会を与えていただけますでしょうか。                                | このことについては、入札説明書等で公表します。                                                                              |
| 37 |    | (添付資料3)<br>レンタルラボ<br>部分の運用方<br>針の概要(案)<br>等 | 26 | 3  | 1   | 2  |  |   |   |  | 「入居資格を満たす期間内とし、原則として1年間とするが、研究プロジェクトが延長又は継続する場合においては、入居の更新申請ができるものとする。」とありますが、延長・継続の場合は原則何ヶ月前に申請されるのですか？ | レンタルラボ部分の適切な運用を図るためには、相当程度の事前からの入居更新手続きが必要になるものと理解しており、その方向で検討中です。具体的には、入札説明書等で公表します。                |
| 38 |    | (添付資料3)<br>レンタルラボ<br>部分の運用方<br>針の概要(案)<br>等 | 26 | 3  | 1   | 2  |  |   |   |  | 「入居資格を満たす期間内とし、原則として1年間とするが、研究プロジェクトが延長又は継続する場合においては、入居の更新申請ができる                                         | 延長又は継続は、入居資格を満たす期間内とし、原則として1年間未満とする予定です。更に延長又は継続が必要な場合は、再度の更新による                                     |

| 番号 | 書類 | 質問項目                                        | 頁  | 1 | (1) | 1) |  | ア | a |  | 質 問                                                                               | 回 答                                                                                                                                                                                                                   |
|----|----|---------------------------------------------|----|---|-----|----|--|---|---|--|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    |                                             |    |   |     |    |  |   |   |  | ものとする。」とありますが、延長・継続の日数制限はありますか？                                                   | ものとする予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。                                                                                                                                                                                         |
| 39 |    | (添付資料3)<br>レンタルラボ<br>部分の運用方<br>針の概要(案)<br>等 | 26 | 3 | 1   | 2  |  |   |   |  | 退去の際は、事前に退去申請はありますか。ある場合は何ヶ月予告ですか？                                                | レンタルラボ部分の適切な運用を図るためには、相当程度の事前からの退居手续が必要になるものと理解しており、その方向で検討中です。具体的には、入札説明書等で公表します。                                                                                                                                    |
| 40 |    | (添付資料3)<br>レンタルラボ<br>部分の運用方<br>針の概要(案)<br>等 | 27 | 3 | 1   | 4  |  |   |   |  | 入居者は退去の際に発生する居室の原状回復費用を負担するとありますが、原状回復工事を行うのは事業者ですか。                              | レンタルラボ部分は、標準的な研究室・実験室を想定しており、あらかじめ定められた範囲内において、入居者の費用負担で設備等を増設することを許可する予定です。なお、これらの増設のうち、設備等の一次側に係るものについては、原則として事業者が行うものとし、その他については、入居者の判断によるものとする予定です。したがって、入居者が退去するときの原状回復についても、上記に準ずるものとする予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。 |
| 41 |    | (添付資料3)<br>レンタルラボ<br>部分の運用方<br>針の概要(案)<br>等 | 27 | 4 | 1   |    |  |   |   |  | レンタルラボ部分の空室リスクは、原則として、選定事業者が負担するとありますが、25ページのリスク分担表には大学側が主分担となっています。どちらが正しいでしょうか。 | リスク分担表の当該表記は、「事業者が十分な手段等により入居者の募集を実施しているにもかかわらず、レンタルラボ部分に空室が生じた場合は、レンタル部分の80%までに限って、大学が賃貸借(学内研究者等による使用)することを保証する」ことを反映したものです。具体的には、入札説明書等で公表します。                                                                      |
| 42 |    | (添付資料3)<br>レンタルラボ<br>部分の運用方<br>針の概要(案)<br>等 | 27 | 4 | 2   |    |  |   |   |  | レンタルラボ部分に空室が生じたと判断する条件を具体的にご提示下さい。                                                | 「事業者が十分な手段等により入居者の募集を実施しているにもかかわらず、レンタルラボ部分に空室が生じた場合」とは、社会通念により判断するものとし、個別具体的事項については、大学と事業                                                                                                                            |

| 番号 | 書類 | 質問項目                                 | 頁  | 1 | (1) | 1) |  | ア | a |  | 質 問                                                                                                       | 回 答                                                                                                                                                                                                                   |
|----|----|--------------------------------------|----|---|-----|----|--|---|---|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    |                                      |    |   |     |    |  |   |   |  |                                                                                                           | 者が協議をして大学が判断するものとする予定です。具体的には、入札説明書等で公表します。                                                                                                                                                                           |
| 43 |    | (添付資料4)<br>附帯事業部分<br>の運用方針の<br>概要(案) | 28 | 3 | 2   |    |  |   |   |  | 「事業内容は、…大学の同意を得る事を条件とする」とありますが、提案された附帯事業の内容が当該条件に合致しない事により実施されない場合に、選定事業者へのペナルティは発生しないという理解でよろしいでしょうか。    | 附帯事業の事業内容は、入札説明書等に示す条件を満たしていれば、原則として、大学はこれを同意するものとしませんが、入札公告後の早い段階で、事業者提案の附帯事業の事業内容について、大学が同意できる内容であるかどうかの判断（可・不可）を示す機会を設ける方向で検討しています。このことにより、事業者提案の附帯事業が、大学の同意を得られないことにより実施できないことを回避できるものと考えています。具体的には、入札説明書等で公表します。 |
| 44 |    | (添付資料4)<br>附帯事業部分<br>の運用方針の<br>概要(案) | 28 | 3 | 2   |    |  |   |   |  | 「事業内容は、福利厚生（物販・軽食等）のサービス提供であること」とありますが、物販・軽食以外のサービスの提供も「国立大学法人法」の目的に合致し大学が同意できるものであれば提案可能という理解でよろしいでしょうか。 | ご理解のとおりです。なお、本質問回答番号43についても参照してください。                                                                                                                                                                                  |
| 45 |    | (添付資料4)<br>附帯事業部分<br>の運用方針の<br>概要(案) | 28 | 3 | 2   |    |  |   |   |  | 「事業内容は、福利厚生（物販・軽食等）のサービス提供であること」とありますが、学内の既存の物販・軽食サービスの提供者との競合等について、協議・調整等は不要又は大学にて実施するという理解でよろしいでしょうか。   | 大学の要求水準である200㎡程度の規模において、学内の既存の物販・軽食等のサービス提供者との競合等について、協議・調整等は不要とします。                                                                                                                                                  |